

高校生 小野 哲生 17

(沖縄県久米島町)

## 久米島の高校生生活充実

私は今、生まれ育った埼玉県東松山市から遠く離れた沖縄・久米島で高校生活を送っている。なぜ久米島に来ようと思ったのかとよく聞かれる。恥ずかしながら大した理由ではない。親元を離れたいと思っていた時に、東京新聞で県立久米島高校の離島留学制度の記事を見つけただけだ。それがまさか、こんなにも充実した高校生生活になるとは思ってもみなかった。一年目は「里親制度」で、心温かい夫婦の元でお世話になった。しかし親元を離れて自由になり、

### ミラー

ゲームに夢中になってしまって、学校以外の日はほとんど家で過ごした。なぜ久米島に居るのかわからなくなる時もあった。

二年になった時、寮ができ生活の場を移した。最初は他人と生活するのに抵抗を感じ、嫌で仕方なかった。寮での交流イベントも積極的に参加せず、距離を置いていた。しかし、そんな私に周りの寮生は「一緒に行こうぜ」などと話しかけてくれた。そして自分も徐々に関わりを増やし、輪に入っていけるようになった。ある時、

地域の祭りに出店する企画でリーダーをやってみた。この体験を通して、人それぞれの考え方やアイデアがあることに気付き、それに触れることで刺激を受け、自分の考え方が広がっていくのを感じた。

この感覚は、一人で過ごしていたころには得られなかった。久米島で学べることは無限大だ。学ぼうと思えば、いくらでも学べる。こんな高校生生活を僕らがネット中継して伝える本校受験生向けの説明会が、七月二十二日午後三時から東京・有楽町駅前の東京国際フォーラムを会場に開かれる。ぜひ、「会いに」来てください。